

■カンボジア：政府、2020年までに全州で基幹送電網との連系を実現する計画

2019年1月24日付報道によると、政府は2020年までにカンボジア全土24州で基幹送電網との連系を実現させる計画である。カンボジア電力庁(EAC)は今後、全国24州のうち、送電線がない5州(東部の Tboung Khmum、中部の Kampomg Thom、北西部の Oddar Meanchey、北部の Ratanakiri、北東部の Mondulkiri)を中心に送電線建設事業を進めることにしており、EACの Yim Viseth 会長は、現在、上記の5州における電気料金は割高になっているが、連系後はより安価で信頼度の高い電力供給が実現されると述べ、計画実現のためには民間からの積極投資が望まれるとした。カンボジアには2,141kmの送電網と33カ所の変電所があり、政府は現時点で87%の村落電化率を2020年までに100%にするとしている。